

# 笠岡市学校給食センター整備運営事業

## 審査講評

平成 28 年 8 月 16 日

笠岡市学校給食センター整備運営事業に係る

P F I 事業者選定委員会

笠岡市学校給食センター整備運営事業に係るPFI事業者選定委員会は、笠岡市学校給食センター整備運営事業に関して、落札者選定基準に基づき、提案内容等の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評を次のとおり報告します。

平成28年8月16日

笠岡市学校給食センター整備運営事業に係るPFI事業者選定委員会  
委員長 吉長 成恭

## 第1 審査体制

学識経験者等の外部委員3名及び市職員2名の計5名の委員で構成する笠岡市学校給食センター整備運営事業に係るPFI事業者選定委員会（以下「委員会」という。）が、落札者選定基準に基づき入札参加者から提出された入札書及び提案資料の審査を行い、最優秀提案を選定した。

委員会の構成は、次に示すとおりである。

委員長	吉長 成恭	広島国際大学大学院教授
委員	中山 哲士	岡山理科大学准教授
〃	藤原 尚子	元くらしき作陽大学教授
〃	岡本 裕也	笠岡市副市長 (前任：天野 美彦 平成28年6月3日まで)
〃	浅野 文生	笠岡市教育委員会教育長

## 第2 委員会の開催経過

委員会は計5回開催した。開催日と主な議題は次に示すとおりである。

審査委員会	開催日	主な議題
第1回	平成27年10月22日	委員長選出、事業の概要説明、実施方針の協議、要求水準書骨子の協議、委員会開催スケジュールの協議、落札者選定基準（案）の協議
第2回	平成28年1月14日	落札者選定基準（案）の協議、要求水準書（案）の協議、入札説明書（案）の協議、特定事業の選定（案）の協議
第3回	平成28年4月11日	事業提案書の審査についての協議
第4回	平成28年6月11日	提案書に関する意見交換
第5回	平成28年6月26日	事業者ヒアリング、提案書審議、総合評価値の算定

## 第3 審査結果

### 1 入札参加資格審査(第一次審査)

下記の2グループから入札参加資格申請書類の提出があり、いずれのグループについても入札参加者が備えるべき入札参加資格要件（入札説明書に規定されている要件）を満たしていることを確認した。

グループ名
日本国民食グループ
四電工グループ

※五十音順

## 2 提案内容審査(第二次審査)

### (1) 入札書及び提案資料の確認

下記グループから入札書及び提案資料が提出され、必要書類に不備がないことを確認した。

なお、加点項目審査における評価の際は、入札参加グループ名、企業名等を伏せ、入札参加資格申請書類の受付後に配布した受付番号（四電工グループは「1」、日本国民食グループは「2」）により、全ての審査を行った。

受付番号	グループ名	グループ構成	
1	四電工 グループ	代表企業	株式会社四電工 岡山営業所
		構成企業	株式会社丸川建築設計事務所 天野産業株式会社 株式会社荒木組 笠岡営業所 株式会社中電工 笠岡営業所 双葉電機株式会社 株式会社メフォス 株式会社アイホー 岡山営業所 笠岡通運株式会社
		協力企業	株式会社ティー・エイ・エコ・システム Y&G. ディストリビューター株式会社
2	日本国民食 グループ	代表企業	日本国民食株式会社
		構成企業	株式会社塩飽設計 株式会社ユー・ディ・ディ設計 小堀建設株式会社 室田建設株式会社 三要電熱工業株式会社 株式会社中西製作所 岡山営業所 株式会社赤田運輸産業

### (2) 必須項目審査

上記グループから提出のあった提案資料の内容が、市が必須とする項目（必須項目）を充足しているかを確認した。

必須項目審査では、「要求水準を満たすための基本的能力を有する」ことを判断し、落札者選定基準に示す必須項目審査の審査基準を満たしていることを確認した。

### (3) 加点項目審査

上記グループの提案内容のうち、市が特に重視する項目（加点項目）で、その提案が優れていると認められるものについては、その程度に応じて、以下に示す判断基準により性能点を付与した。

評価	判断基準	得点化方法
A	各評価項目に関して特に優れている	各項目の配点×1.00
B	AとCとの中間程度	各項目の配点×0.75
C	各評価項目に関して優れている	各項目の配点×0.50
D	CとEとの中間程度	各項目の配点×0.25
E	要求水準を満たす程度	各項目の配点×0.00

なお、加点項目審査の「その他に関する提案」に係る評価項目のうち、「地域経済」については、以下のように評価の方法に配慮することを委員会で決定している。

**【評価方法の設定】**

本評価項目は、「①構成員のうちの市内企業の割合及び地元への発注額」、「②市民の雇用や地元学校給食調理の実務経験者の雇用、県産材の活用等」として、それぞれ異なる評価方法を設定する。

具体的な評価方法は、以下のとおりである。

① 構成員のうちの市内企業の割合及び地元への発注額について

S P Cからの発注予定額の総額のうち、構成員である市内企業への発注額の提案について、市内企業割合が最も多いものには満点（3点）を付与する定量的評価とする。

算出式：3（点）×当該市内企業割合／最大市内企業割合

② 市民の雇用や地元の学校給食調理の実務経験者の雇用、県産材の活用等

①以外の、例えば市民の雇用や県産材の活用、地元金融機関からの融資、市内企業との協力及び人材活用に関する考え方については、満点を2点として上記の5段階評価により委員会委員が評価を行う定性的評価とする。

加点項目審査の結果は、以下のとおりである。

評価項目	配点	グループ 1	グループ 2
1. 事業計画に関する提案			
① 事業実施方針, 実施体制	2	1.40	1.00
② 資金調達・返済計画の確実性・安定性	2	1.10	0.90
③ リスク管理の方針	3	1.80	1.20
2. 設計・建設に関する提案			
① 配置計画・外部動線	2	1.30	0.60
② 内部動線	3	1.65	1.05
③ デザイン	2	1.40	0.50
④ 施工計画	3	1.50	1.35
⑤ 地球環境・ライフサイクルコストへの配慮	3	1.50	1.20
3. 開業準備に関する提案			
円滑な供用開始に配慮した開業準備	3	1.65	0.90
4. 維持管理に関する提案			
① 維持管理体制及び品質管理	2	0.60	0.60
② 光熱水費の低減への配慮（運營業務からの観点を含む）	3	1.50	0.90
③ 修繕計画	3	1.50	0.75
5. 運営に関する提案			
① おいしい給食の提供	4	2.60	1.60
② 安全衛生	4	2.20	0.80
③ アレルギー等対応	4	1.40	1.20
④ 配送・回収	3	1.80	0.30
⑤ 衛生管理	4	2.20	1.80
⑥ 食育支援	3	1.05	1.05
6. その他に関する提案			
① 地域経済	5	2.62	4.20
② 災害時対応	2	0.70	0.70
性能点合計	60	<b>31.47</b>	<b>22.60</b>

### 3 入札価格の適格審査(開札)

入札書に記載された入札価格が予定価格を超えていないことを確認した。

### 4 入札価格の得点化方法

入札価格を対象として、以下に示す方法に基づき価格点を付与した。

$$\text{価格点} = 40 \text{ 点} \times (\text{最低入札価格} / \text{当該入札価格})$$

	グループ 1	グループ 2
入札価格 (円)	4,943,482,491 円	4,504,700,260 円
価格点	36.45	<b>40.00</b>

### 5 総合評価

委員会は、次表のとおり総合評価値を算定し、グループ 1 の提案を最優秀提案として選定した。

この結果、最優秀提案の提出事業者は、四電工グループとなった。

(総合評価値の算定結果)

	グループ 1	グループ 2
性能点	31.47	22.60
価格点	36.45	40.00
総合評価値	<b>67.92</b>	62.60
順位	<b>1</b>	2

## 6 審査講評

### (1) 事業計画に関する提案

審査項目	審査講評
① 事業実施方針，実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2グループとも，本事業の位置づけや特徴を踏まえた事業実施方針，実施体制となっている点が評価された。</li> <li>・ グループ1は，安定したSPCの運営を確実に実施するための体制づくりや要員選定が提案されている点が高く評価された。</li> <li>・ グループ2は，市との良好なパートナーシップを構築できる体制づくりが提案されている点が評価された。</li> </ul>
② 資金調達・返済計画の確実性・安定性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2グループとも，余裕のある資金調達計画や返済計画，不測の資金需要への手厚い対応が評価された。</li> <li>・ グループ1は，3段階による資金充当でSPCの安定化を図る提案がされている点が高く評価された。</li> <li>・ グループ2は，内部留保以外の資金充当の方策が提案されている点が評価された。</li> </ul>
③ リスク管理の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2グループとも，PFI事業の特性を踏まえた基本的なリスク管理を適切に提案している点が評価された。</li> <li>・ グループ1は，各業務においてバックアップサービサーを確保し，加えて，各バックアップサービサー企業より関心表明書を取得している提案がされている点が評価された。</li> <li>・ グループ2は，バックアップサービサーを確保している提案がされている点が評価された。</li> </ul>

### (2) 設計・建設に関する提案

審査項目	審査講評
① 配置計画・外部動線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2グループとも，敷地の特性を踏まえた配置計画，安全性や利便性に配慮した動線計画等が適切に行われている点が評価された。</li> <li>・ グループ1は，近隣住民の生活への影響の低減，雨水の流出を防ぐ提案等がされている点が高く評価された。また，車両動線計画に優れた提案がされていた。</li> <li>・ グループ2は，日照の影響について具体的に検証がされている点が評価された。</li> </ul>
② 内部動線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2グループとも，衛生管理の重要度に応じたゾーンの区分，HACCPの概念を踏まえ，衛生面に配慮した動線計画等が適切に行われている点が評価された。</li> <li>・ グループ1は，衛生的な内部動線の提案に加えて，幼稚園給食の実施等，市の給食形態に配慮した提案されている点が高く評価された。</li> <li>・ グループ2は，衛生的な内部動線が提案されている点が評価された。</li> </ul>



審査項目	審査講評
③ デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2グループとも、本施設の用途に相応しいデザイン計画となっている点が評価された。</li> <li>・ グループ1は、周辺環境との調和や景観形成に資するとともに、公共施設として洗練されたデザイン計画となっている点が高く評価された。</li> <li>・ グループ2は、周辺環境に調和するデザイン計画となっている点が評価された。</li> </ul>
④ 施工計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2グループとも、周辺住民の生活環境や安全確保に配慮した提案がされている点が評価された。</li> <li>・ グループ1は、事前に地元住民から意見を聴取し、きめ細かい周辺住民の安全確保の提案がされている点が高く評価された。</li> <li>・ グループ2は、周辺住民の生活環境へのきめ細かい配慮がされている提案が評価された。</li> </ul>
⑤ 地球環境・ライフサイクルコストへの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2グループとも、具体的な省エネルギーや省資源化、ライフサイクルコストの低減策等の提案がされている点が評価された。</li> <li>・ グループ1は、具体的な機器更新・修繕を配慮した提案がされている点が高く評価された。建築物総合環境性能評価で「A」性能を有する計画が評価された。</li> <li>・ グループ2は、ライフサイクルコストの低減に資する配慮のある提案がされている点が評価された。</li> </ul>

### (3) 開業準備に関する提案

審査項目	審査講評
円滑な供用開始に配慮した開業準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2グループとも、具体的な研修やリハーサル等の提案がされている点が評価された。</li> <li>・ グループ1は、効果の高い教育方策が提案されている点が高く評価された。配送リハーサルについて、実効性の高い提案がされていた。</li> <li>・ グループ2は、充実した体制の提案がされている点が評価された。</li> </ul>

### (4) 維持管理に関する提案

審査項目	審査講評
① 維持管理体制及び品質管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2グループとも、実効性の高い緊急時の対応、事業期間終了時の引継ぎやアフターフォロー等の提案がされている点が評価された。</li> </ul>
② 光熱水費の低減への配慮 (運營業務からの観点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2グループとも、具体的な光熱水費削減を図る方策の提案がされている点が評価された。</li> <li>・ グループ1は、具体的な設備システムの提案がされ、施設全体の省エネルギー化の推進が高く評価された。</li> <li>・ グループ2は、具体的な光熱水費削減の検証方法が提案されている点が評価された。</li> </ul>

審査項目	審査講評
③ 修繕計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2グループとも、予防保全の考えに基づく修繕計画の提案がされている点が評価された。</li> <li>・ グループ1は、修繕等に係る情報システムの導入に加え、各機器の更新計画のシュミレーションなど、実効性の高い提案がされている点が高く評価された。</li> <li>・ グループ2は、具体的な点検体制が提案されている点が評価された。</li> </ul>

#### (5) 運営に関する提案

審査項目	審査講評
① おいしい給食の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2グループとも、豊富なノウハウを活用した具体的な調理の考え方や方策が提案されている点が評価された。</li> <li>・ グループ1は、実効性の高い技術指導や幅広い調理方策の提案がされている点が高く評価された。特に幼稚園専用釜の導入や、園児用調理方法の提案などが評価された。</li> <li>・ グループ2は、多様な調理方策等の提案がされている点が評価された。</li> </ul>
② 安全衛生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2グループとも、多様な食中毒事故及び異物混入を未然に防止する方策の提案がされている点が評価された。</li> <li>・ グループ1は、実効性の高い管理体制や研修等が提案されている点が高く評価された。異物対策を防ぐための機器の導入が評価された。</li> <li>・ グループ2は、複層の管理体制が提案されている点が評価された。</li> </ul>
③ アレルギー等対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2グループとも、除去すべき食材が混入しないための調理システムや業務運営体制について豊富なノウハウが活用された提案がされている点が評価された。</li> </ul>
④ 配送・回収	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループ1は、調理後2時間以内の喫食を実現するための実効性の高い配送計画に加えて、幼稚園専用車両の導入等が提案されている点が高く評価された。</li> </ul>
⑤ 衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2グループとも、多様な衛生管理する方策、及び充実したノロウイルス対策の提案がされている点が評価された。</li> <li>・ グループ1は、従業員の健康管理や衛生研修等の提案がされている点が高く評価された。</li> <li>・ グループ2は、感染症拡大を予防するための管理体制や衛生研修等の提案がされている点が評価された。</li> </ul>
⑥ 食育支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2グループとも、多様な食育支援の方策の提案がされている点が評価された。</li> </ul>

## (6) その他に関する提案

審査項目	審査講評
① 地域経済	<ul style="list-style-type: none"><li>• 2グループとも、地域の企業や人材を積極的に活用する提案がされている点が評価された。</li><li>• グループ1は、地元雇用を積極的に行う提案がされている点が評価された。</li><li>• グループ2は、地元企業の活用度が高い提案がされている点が高く評価された。</li></ul>
② 災害時対応	<ul style="list-style-type: none"><li>• 2グループとも、多様な災害時の対応の提案がされている点が評価された。</li></ul>

## 7 総評

笠岡市学校給食センター整備運営事業は、学校給食センターの設計・建設、開業準備、15年間の維持管理及び運営について、長期的かつ一体的に民間事業者を実施いただくことにより、民間事業者の創意工夫が発揮され、市の財政負担の縮減及び公共サービスの向上が期待されることから、PFI方式での実施となった。今回、多くの企業から関心が寄せられた中で、最終的に2グループから応募があった。2グループの提案資料は、これまでの各企業の実績をもとに創意工夫が盛込まれており、市の要求水準を上回る提案内容が示されていた。提案資料の作成における努力に対して敬意を表するとともに、心から感謝申し上げたい。

本選定委員会では、落札者選定基準に基づき、厳正かつ公正に審査を行い、株式会社四電工を代表企業とする四電工グループの提案を最優秀提案として選定した。同グループは、加点項目審査において、各評価項目で高い得点を得た。

今後、選定された四電工グループが、市と特定事業契約を締結するための協議を行うこととなるが、市の要求水準のみならず、提案内容を確実に実行することが求められる。本事業をさらに充実したものとし、安全でおいしい給食を提供できるよう、同グループに対しては、次の事項に留意して事業を実施されることを望みたい。

- ・長期修繕計画を策定し、安定した効率的な運営を確実に実施すること。
- ・建設予定地の周辺環境を考慮し、周辺住宅地への安全確保に配慮した施設とすること。
- ・食の安全管理や衛生管理に特に留意し、地域の食文化の継承や効果的な健康教育・食育等のニーズに対応すること。
- ・発育段階に応じた対応や、アレルギー等をもつ園児・児童生徒への個別対応など、多様なニーズに対応できるシステムを構築すること。
- ・笠岡市民の雇用を確保するために、地元雇用を優先すること。